お届けしています 声の広報 あいこうか

市では、市民の皆さんに市政の動きや市行事などをお知らせするため、毎月2回（1日、15日）市の情報誌広報あい こうかを発行、市内各世帯にお届けしています。

しかしながら市内には目が不自由で広報誌が読めない方も少なくありません。

そこで市では、ボランティアグループの皆さんにご協力をいただき「声の広報あい こうか」を作成し、ご希望の方にお届けしています。

声の広報は私たちの情報源

声の広報発行にボランティアとしてご活躍をいただいているグループは、朗読ボランティアうさぎのミミ（代表＝池内眞弓・会員19名）と、音訳グループみみずく（代表＝水谷敦子・会員8名）の皆さんです。

両グループには、毎月2回の発行日に併せてカセットテープに録音いただき、発行日に遅れることなく各ご家庭に郵送することができています。

カセットテープを受け取った方からは、「このテープだけが市の情報源です。」「送っていただくのを楽しみにしています。」「毎回かかさず繰り返し聞いています。」と喜びの声が届いています。

皆さんに喜んでもらいたい

両グループそれぞれに、朗読会や交流会を開催しています。また、うさぎのミミでは小学校へ出向いて行き、読み聞かせを、みみずくでは希望により図書館で対面朗読を行っています。最近では、依頼の件数が増え、お忙しい活動となっているようです。

それぞれの代表者の方にお話をお伺いしました。

ご希望の方はご連絡ください

担当いただいている地域は、うさぎのミミが水口・土山、みみずくが甲南・甲賀・信楽です。

声の広報あい こうかを希望される方は、秘書広報課までご連絡ください。

問い合わせ　秘書広報課
TEL 65―0675
FAX 63―4619

青少年の健全育成のために活動

市少年補導委員会

子どもを取り巻く環境が大きく変化し、非行の粗暴化や低年齢化、子どもが凶悪な事件に巻き込まれる等の事件も増加しています。

市では、少年センターを中心に様々な活動を行っています。なかでも少年補導委員会では、昼夜を問わず市内全域で、青少年の健全育成や非行防止のための啓発活動や補導活動をしていただいています。

今こそ私たち市民も手をとりあって、一丸となり、補導委員の皆さんとともに子どもたちを守り育てるさらなる取り組みが求められています。

そうしたなか、滋賀県建設業協会甲賀支部から青少年の健全育成のためにと、239,000円を市にお寄せいただきました。市では補導委員会の活動のために活用させていただく予定です。

心に響く朗読をしたい

朗読ボランティア うさぎのミミ代表　池内（いけうち）　眞弓（まゆみ）　さん

「朗読ボランティアうさぎのミミ」は、平成6年に誕生しました。私たちの主な活動は、音訳と読み聞かせです。

音訳

「広報あい こうか」「社協こうか」等をテープに録音し、ダビングしています。また、詩・小説等を録音し、オリジナルテープを作成、これまでに32号を発行しました。（水口図書館テープ貸し出しコーナーにあります。）

読み聞かせ

水口地域の小学校や図書館でお話し会を開いたり、老人会等、地域の行事に参加協力したりしています。

今、私たちは、5月6日（日）の朗読発表会に向け、みんながー丸となって取り組んでいます。心に響く朗読を聴いていただくためにボイストレーナー栗山（くりやま）先生の指導を受け、読み込んでいるところです。

ゲームに興じ、読書の楽しさに気づいていない子どもたちに、私たちの生の声、豊かな言葉で語り、何かを感じてもらいたいと思います。発表会の詳細は、広報あいこうか4月1日号でお知らせしますので、皆さんお越しください。

▲ただいま音訳中

「聞いているよ」の声に励まされて

音訳グループ みみずく代表　水谷（みずたに）　敦子（あつこ）　さん

私たち「音訳グループみみずく」は、平成12年4月、甲南町の広報音訳から活動を始めました。その後、朗読講座の受講や勉強会などを続け、メンバーも徐々に増えてきました。

現在は広報誌音訳の他に、月2回の対面朗読（予約制）、勉強会、朗読会などを行っています。

「広報あい こうか」をできるだけ早く、正確で聞きやすいテープにしてお届けするため、写真や図、細かい数字などをどのように音訳すべきか考えながら、メンバー一同常に努力しています。

そんな私たちには、利用者の方から「聞いているよ」「役に立っているよ」という声が何よりの喜びとなっています。

今後も勉強を続けながら、より良いテープ作りを続けていきたいと思っています。

▲広報誌を音訳するメンバーの皆さん